

件名	平成28年度コミュニティ交流会開催について
1 日時	平成28年8月27日(土) 11時00分～15時15分
2 場所	市民福祉プラザ5階
3 参加者	合計75名(61町内会)
4 当日の会の流れ	<p>(1) 開会のあいさつ、開催の趣旨及び会の進め方の説明</p> <p>(2) グループ内での自己紹介、情報交換</p> <p>(3) グループでの情報交換(A～Gグループ)</p> <p>(4) 事例等発表(各グループ毎:主な内容は下記のとおり)及び意見交換</p> <p>(5) 閉会</p>
5 各グループの事例等発表の主な内容	<p><u>Aグループ</u>(役員選出について、ごみステーションについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員の高齢化が進んでいるところもあるが、若返りしているところもある。 ・ごみステーションに花のプランターを置くことで、急にマナーが良くなったという例もある。 <p><u>Bグループ</u>(あいご会と町内会について、高齢者の見守りについて、ごみステーションについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいご会からの協力があれば、町内会がよりフレッシュでうまく回るようになるのでは。 ・あいご会に入るが、町内会には入らないという若い世代も中には出てきているので、町内会に入ってもらって子どもと一緒に参加してもらえようようにしていきたい。 ・民生委員との協力を町内会はしっかりとやっている。 ・民生委員の協力により、町内会は高齢者に対して良い対応ができています。 ・会長夫婦がごみステーションのネットを作ったのを見た皆さんは、決まりを守ってごみを出すようになったという例がある。 ・ほうきやちり取りを回すことで、ごみステーションの管理をスムーズにしているところもある。 <p><u>Cグループ</u>(ごみステーションについて、役員について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会未加入世帯から、ごみステーションの管理費用を徴収している町内会もある。 ・青少年部・福祉部とかを作った方が、今後、子どもたちの問題や高齢者の問題に対応できるのでは。 <p><u>Dグループ</u>(ごみステーションについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違反ごみを出した人を特定するのは難しい。ごみステーションの利用対策として、警告の看板を建てたり、警察に相談をしたりしている。 <p><u>Eグループ</u>(ごみステーションについて、町内会加入について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違反ごみ出し等に対して、日夜会長・役員で見回っている。 ・早めにごみを出して、猫やカラスに狙われるのを避けるように努力している。 ・月に1回、資源ごみの回収を町内会でし、最低でも月1万の収入となっている。 ・防犯灯・ごみステーションが皆様の役に立っているという点を加入案内時に伝えている。 ・新しい宅地の造成時は、業者に町内会に加入するよう協力要請も一策である。

Fグループ（町内会行事について、ごみステーションについて）

- ・市の補助金（みんなで参加わがまちづくり支援事業、地域ふれあい交流助成事業）を活用して町内会の交流活動を行っている。
- ・ごみステーションの利用は多くの町内会で課題となっている。

Gグループ（町内会費・役員報酬について）

- ・役員報酬や町内会費は、町内会によってさまざまであった。
- ・新しい行事を行うことで、子ども達や転入者との親睦をはかり、上手に交流を行っている例もある。